



平成 25 年 9 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社シスウェーブホールディングス

代表者名 代表取締役社長 宮嶋 淳

(JASDAQ・コード 6636)

問合せ先 (役職) 管理部長 (氏名) 田口 伸之介

電話 044-738-2470

## 大統領直下のインドネシア科学院がインドネシア共和国への貢献を評価し シスウェーブホールディングスを表彰

インドネシア共和国（以下、「インドネシア」という。）の大統領直下の中央研究所にあたるインドネシア科学院（Indonesian Institute of Sciences (LIPI) 以下、「LIPI」という）の開設 46 周年記念式典において、当社は、インドネシアに多大な貢献をした共同研究企業として、LIPI より表彰をいただいたことをご報告いたします。

### 記

平成 25 年 8 月 26 日セルボンの LIPI 施設において、LIPI 開設 46 周年記念式典が行われました。

科学技術大臣をはじめ、LIPI 長官、局長、部門長など全ての幹部が参加する大規模な式典であり、LIPI が開発した電気自動車の紹介をはじめとする研究成果が紹介されました。

式典では、この 1 年間にインドネシアで多大な貢献をした研究者や共同研究企業への表彰も行われ、当社は共同研究企業の 4 社に選拔され、表彰を頂きました。表彰式にはインドネシア事業担当取締役の杉山が当社を代表して LIPI 長官より表彰をいただきました。また、共同実験の LIPI 担当者:イノベーションセンター長 Prof. Dr.Bambang Subiyanto 氏も、大統領表彰デベロップメントアワードを受賞し、科学技術大臣より表彰されました。

既にご報告しておりますように、当社は、昨年 9 月より LIPI とスーパーソルガムの共同実験を進めており、2012 年度 LIPI 試験データでは、系統 A の 1ha 当たりの年間収穫量（3 回収穫のトータル）実績は 430t、同系統においてバイオエタノール生産能力は年 3 回の収穫合計で 1ha 当たり約 1 万 7,700 リットル（栽植密度: 100,250 株/ha）を記録しております。バイオ燃料先進国におけるサトウキビを原料としたバイオエタノール生産量は 1ha 当たり年 6,000～7,000 リットルですので、LIPI 試験データは、飛躍的な成果を上げているといえます。

今回の表彰は、上記試験成果によることはもちろんのこと、当社提唱の地域循環型経済（SmartCity）モデルがインドネシアの現況（17,000 以上の島より構成される国土、2 億 4 千万人から増加を続ける人口）から生み出される「食とエネルギー」という 2 つの深刻な問題解決への大きな貢献が期待されています。

今後も、LIPI との提携を更に強化し、スーパーソルガムからはじまる地域循環型経済（SmartCity）モデルがインドネシアのエネルギー政策の中核となるべく共同研究を推し進めてまいります。

以 上

## ■インドネシア科学院(LIPI)の概要

インドネシア国営の大統領直轄機関で、6,000 名以上の職員と約 1,500 名の研究者を要するインドネシア最大規模の研究機関です。研究対象は幅広く地球科学、生命科学、理工学、社会科学、人文科学などを網羅しています。

## ■LIPI と共有しておりますスーパーソルガムと他作物との比較データ



※スーパーソルガム系統 A の Yield Factor: 収量の前提条件

1. 土壌条件: 炭酸カルシウムを用いて土壌 pH6~7 へ調整  
窒素 160kg/ha/収穫 リン酸 100kg/ha/収穫 カリ 120kg/ha/収穫
2. 栽培密度: 100250 株/ha
3. 灌 水: 雨水のみ
4. 収穫回数: 3 回 / 年
5. 播種時期: 9 月~10 月

※スーパーソルガム系統 A 以外の穀物の収穫データは島水省(日本)データを基にした、それを基にグラフ記載の数値は以下の前提条件で試算。

- 年間収穫回数: スーパーソルガム系統 A 3 回、他の作物 1 回
- 収穫量前提 (ton/ha/年): トウモロコシ(北米) 10、サトウキビ(タイ) 60、サトウキビ(オーストラリア) 100、キャッサバ(東南アジア) 25、テンサイ(フランス) 60、米(日本) 5
- 灌漑有無: サトウキビ(オーストラリア)は灌漑有り、他の作物は灌漑無し
- 澱粉含有率前提: トウモロコシ(北米) 70%、キャッサバ(東南アジア) 25% 澱粉から糖への糖化効率前提: 100%
- 糖収率: サトウキビ(タイ) 15%、サトウキビ(オーストラリア) 15%、テンサイ(フランス) 17%、スーパーソルガム 14%

## ■表彰状





■表彰式の様子



調印式(左から 2 番目)当社インドネシア事業担当取締役 杉山 文彦、(左から 4 番目)インドネシア科学院長官、(左から 5 番目) インドネシア科学院 Scientific Services 局長、(右から 1 番目) インドネシア科学院一等書記官

■インドネシア科学院 長官より表彰される当社インドネシア事業担当取締役 杉山 文彦



■インドネシア科学院内のスーパーソルガム圃場の様子

